

水道基幹管路の耐震化及び配水支管の老朽管更新の推進に伴う財政支援の持続と拡充について

北信越部会提出

水道インフラは、市民生活に最も密着した社会基盤の一つであり、市民の生命と暮らしを守る極めて重要な役割を担っています。

水道事業を取り巻く環境は、本格的な人口減少社会の到来に伴う水需要の低下により料金収入の減少が見込まれる中、高度経済成長期以降に急速に整備された水道管の老朽化が進行しており、近年では全国各地で水道管の破裂事故が相次いで発生しています。

また、激甚化する自然災害に対応するための管路の耐震化や老朽管更新の推進は、先送りできない課題であり、一層厳しさを増しております。

多くの小規模な水道事業者は、経営基盤が脆弱で計画的な更新に必要な資金を確保することが困難であり、継続的に耐震化等に取り組んでいるものの、膨大な管路延長に対して十分な進捗が図れないことから、事業を着実に進めるためには、財政支援が不可欠であります。

つきましては、基幹管路の耐震化と小口径を含む配水支管の老朽管更新を推進し、安全で安心な水道インフラの維持・管理を継続していくため、下記の事項について格別の御配慮を賜りますよう要望します。

記

- 1 基幹管路の耐震化に係る「社会資本整備総合交付金」の継続と交付率の引上げ
- 2 「上下水道耐震化計画」に位置づけた小口径を含む配水支管の老朽管更新に対応できる新たな財政支援